

Q.地球温暖化防止に向けて どのような取り組みをしていますか？



地球温暖化ガス排出量21.16%削減

当行は、新世紀第3次長期経営計画（平成19年4月～平成22年3月）において、「地域社会との『共存共栄』の貫徹」を目指すため、3つのブランド戦略（「知恵と親切のしがぎん」「アジアに強いしがぎん」「CSRのしがぎん」）を柱とした営業戦略を展開しております。とくに「CSRの実践」では、「地球温暖化ガス（CO₂）排出量6%削減（平成18年度比）」を掲げ、更なるCSR経営の充実を図ってまいります。具体的には、①省エネ活動によるCO₂排出量の削減②お客さまが取り組まれる環境保全活動への金融面（本業）での支援③植樹活動によるCO₂の吸収④自社車輛の環境対応車への切り替えなどに努めています。これらの環境保全に努めてきた結果、平成20年3月末までに、CO₂排出量を21.16%削減することができました。

新世紀第3次長期経営計画

目指すべき姿	地域社会との『共存共栄』の貫徹	
メインテーマ	リスク管理の高度化による企業価値の向上	計画期間：平成19年4月～平成22年3月（3年間）
基本戦略	グループ力の結集による 3つのC+CSR (Consolidation, Credit Risk, Cost Control+ CSR) の実践	商品・サービスの向上、合理的かつ積極的なリスクテイク (Consolidation) 信用リスク管理の高度化 (Credit Risk) 生産性の向上 (Cost Control) 環境・社会に対する取り組みの充実とコーポレートガバナンスの整備 (CSR)
営業戦略	資産の質を重視し、3つのブランド戦略を柱とした展開	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #f96;">知恵と親切のしがぎん</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #e91e63; color: white;">アジアに強いしがぎん</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #4caf50; color: white;">CSRのしがぎん</div> </div>

※新世紀第3次長期経営計画の詳細については、ホームページをご覧ください。http://www.shigagin.com/pdf/bank/2008_10-13_chouki.pdf

地球温暖化ガス（CO₂）排出量削減結果（平成19年4月～平成20年3月）

項目	取り組み内容	削減計画	CO ₂ 削減量合計	累計実績
省エネ活動	電力、都市・LPガス、上下水道、ガソリン、重油使用量の削減	263.7t	190.2t 増加	電力—— 2,121kWh増加 都市・LPガス —— 2,447m ³ 削減 上下水道 —— 5,593m ³ 削減 ガソリン —— 2.0kℓ増加 重油 —— 20.1kℓ削減
本業を通じたCO ₂ の削減	①「ジャストサポート（エコ）」 「PLB」「エコ・クリーン資金」 （環境対応車の購入）の実行 ②「エコ&耐震住宅ローン」 「セレクトリフォームローン（エコ&耐震）」 （太陽光発電システムの導入）の実行 ③「カーボンオフセット定期預金『未来の種』」による 排出権の購入	244.2t	2,029.7t	①208件 ②14件 ③2,000t
植樹活動	役職員ボランティアによる植樹	16.8t	17.9t	1,600本
自社車輛の環境対応車への切替	環境対応車への切替	29.8t	3.4t	33台
		554.5t	1,860.8t	

※CO₂排出量は新事務棟の稼働により増加しましたが、排出権を2,000t購入し、カーボンオフセットすることにより21.16%削減いたしました。
※平成18年度（基準年）のCO₂排出量は8,791.9tです。

NEW!

宇治支店オープン

～店舗の環境配慮仕様、紹介します～

平成20年2月、宇治支店を開設しました。屋上には「太陽光発電パネル」を設置し、ATMコーナーに発電量やCO₂排出削減量を表示、ATM内の電力を賄っています。加えて、「氷蓄熱空調システム」「雨水利用」「ソーラー外灯」を採用するなど、環境に配慮した仕様となっています。



CO₂排出削減量等を表示するATM

TOPICS



宇治支店の「太陽光発電パネル」

Q.環境マネジメントシステムにはどのような特徴がありますか？



高島市
棚田

「滋賀銀行環境方針」のもと、環境を主軸とするCSRを追求し、心身ともに「クリーンバンクしがぎん」の実現にしがぎんグループをあげて取り組んでいます。

『しがぎん』の環境方針 ～クリーンバンク『しがぎん』をめざして～

- 1 滋賀銀行は、地球環境の保全ならびに環境への負荷低減を企業活動の基本と認識し、環境マネジメントシステムの継続的改善および環境汚染の予防に努め、「環境との共生」をめざします。
- 2 関連する環境の法規制、および滋賀銀行が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 3 エコオフィスづくりの中で、省資源および省エネルギーを推進します。
- 4 環境対応型金融商品の開発・推進ならびに情報提供を通して、琵琶湖をはじめとした自然環境保全への取り組みを、地域とともに行います。
- 5 この環境方針を基に全従業員が環境について考え行動します。

クリーンバンクしがぎん ～込められた4つの思い～

- ① 省資源・省エネルギーの「エコオフィスづくり」
- ② 環境対応型金融商品・サービスの開発、提供による地域への環境保全活動への働きかけ
- ③ 倫理観の強い行員づくり
- ④ 透明度の高い情報開示

平成11年に宣言!

平成19年度環境活動の目標と実績

☺=達成 ☺=おおむね達成 ☹=未達成

平成19年度 環境目的・目標	平成19年度実績	評価	備考	
地球温暖化防止 地球温暖化ガス排出量を平成18年度比6%削減(3カ年計画)	21.16%削減	☺	CO ₂ 換算1,809t削減	
省資源	コピーカウント数の削減 平成18年度比 0.4%削減	3.91%増加	☹	法制度改正への対応等、特殊要因により紙使用量は増加
	コピーの両面化率の向上 コピーの両面化率 59.95%	56.74%	☺	
	帳簿用紙の削減(電子化) 帳簿用紙15種類を電子化	15種類	☹	累計で362種類を電子化
	連続用紙の使用量の削減 平成18年度比 0.1%削減	3.12%削減	☹	
	紙類のグリーン購入率の向上 紙類のグリーン購入率 100%	古紙配合率偽装問題への対応・調査を実施		
	文具類のグリーン購入の推進 文具類のグリーン購入率 85%			
省エネルギー	事務室電力使用量の削減 平成18年度比 1%削減	1.04%削減	☹	平成18年度比 53kWh削減
	紙ゴミのリサイクル率の向上 紙ゴミのリサイクル率99%	99.90%	☺	539tを再生紙リサイクル
	水道使用量の削減 水道使用量を25,100m ³ 以下	24,757m ³	☺	平成18年度比 1.41%削減
	ガス使用量の削減 ガス使用量を29,000m ³ 以下	29,080m ³	☺	平成18年度比 0.59%増加
	公用車の環境対応車への切替 29台を環境対応車に切替	33台	☹	公用車352台中、環境対応車は222台で採用率は63.1%

平成20年度の環境目的・目標については、コピーカウント数、両面化率の目標を廃止し、紙使用量全体の削減目標に見直しを行い、各部・関連会社においても、個別・単独の環境目標を設定し、取り組んでいます。

ISO14001

「エコオフィスづくり」に加え、銀行の本業を通じての環境保全活動を「環境マネジメントシステム」に組み込み、活動している点が審査機関に評価され、当行は平成12年に金融機関の中ではいち早く、環境管理の国際規格であるISO14001の認証を取得しています。

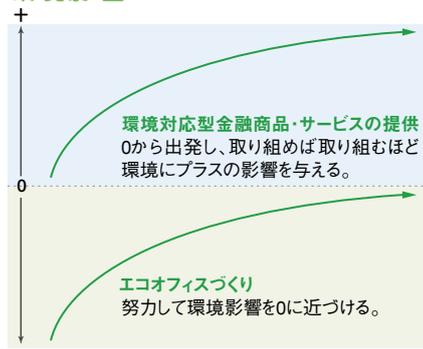
環境法規制の遵守

定期的に、環境に関する法規制などの制定・改正・廃止の情報収集を行い、平成19年度においても環境に関する法規制等の遵守状況を確認しております。

環境マネジメントシステム

「環境マネジメントシステム」は、当行が直接的に取り組むものと、間接的に取り組むものに分け、それぞれについて具体的に活動を展開しています。

環境影響



間接的な取り組み

環境保全に取り組まれるお客さまをサポートする環境対応型金融商品、サービスの開発・提供

直接的な取り組み

電力使用量の削減や、紙ゴミのリサイクルをはじめとするエコオフィスづくり



しがぎんVOICE

ISO実施責任者の声

(株)しがぎん経済文化センター 高橋 和也

弊社では取引先企業のISO14001などの環境認証の取得に向けて、これまでビデオライブラリー、e-KEIBUNなどによる環境情報の提供や、コンサルティングを実施してきました。今年度は新たに環境ニュースの発信を行い、さらに環境認証取得に向けてのセミナーも企画中です。ISOの輪がもっと広がるように努めてまいります。

Q.「エコオフィスづくり」とはどのような取り組みですか？

地球環境に配慮「エコメール」を導入

NEW!

従来は封筒に入れて郵送していた発送物(冊子)を、開封テープと宛名ラベルのみの簡易包装で発送する「エコメール」を平成19年8月より順次導入しています。

平成19年度は31,525通をエコメールで発送し、不要となる封筒やビニール袋など535kgの廃棄物を削減することができました。

ココに注目

開封テープと宛名ラベルは簡単にはがすことができます。



行内のリサイクルシステムで、紙ゴミを再生

行内に「リサイクルシステム」を設置し、顧客情報などに関する機密書類を全店から集めて破碎処理し、再生紙工場に持ち込んで、ノートやファイル、トイレトーパーなどに再生しています。

また、新たな取り組みとして、当行の再生紙を活用してキッチンクリーナーなどに再生し、お客さまへノベルティグッズとして提供しています。

平成19年度は539 ㍻の紙ゴミを破碎室へ持ち込み、リサイクル率は99.9%を誇っています。



再生されたノートやファイル、キッチンクリーナー



ココに注目

行内のリサイクルシステムの活用により、機密情報の漏洩も防止できます。



ノベルティグッズもグリーン購入



当行の定めるグリーン購入基本方針のもと、環境負荷ができるだけ少ない商品やサービスを優先的に購入する「グリーン購入」の実践に取り組んでいます。

ココに注目

お客さま自身が“グリーンコンシューマー”となっただけのよう、お客さまにお贈りするノベルティグッズ(頒布品)もグリーン購入です。

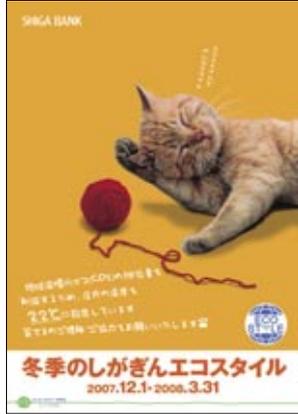




夏・冬の エコスタイルで 電力使用量を 削減



夏季の軽装により、室内温度を本部・関連会社は28℃、営業店は26℃とし、電力使用量を削減して温室効果ガス排出量を削減しようと「しがぎんエコスタイル」キャンペーンを全店で展開しています。
加えて、冬季は室内温度を本部・関連会社は20℃、営業店は22℃に設定し、省エネ活動に取り組んでいます。



NEW! 箱なしコピー用紙配達 「エコラボはーと・しが」で 環境と福祉に貢献



「滋賀グリーン購入ネットワーク」がすすめる、箱なしコピー用紙配達事業「エコラボはーと・しが」に参加しています。

これは、共同作業所のスタッフが、通常のダンボール箱の代わりに、何度も使用できるプラスチック製の通い箱を活用して、コピー用紙を参加企業へ配達する取り組みで、本部で使用するコピー用紙の一部を本事業より購入しています。

ココに注目

環境(不要な包装の削減) + 福祉(障がい者雇用促進) に貢献できる、滋賀オリジナルのCSR活動です。

ペットボトルキャップの リサイクル NEW!

滋賀県内の企業が加盟する社会貢献組織「淡海フィナンスロープーネット(会長:高田紘一)」のペットボトルキャップリサイクル事業に参加しています。

当行本店にてペットボトルキャップを回収し、滋賀県内の共同作業所に提供。回収したペットボトルキャップは、分別・洗浄作業をへて再生業者に販売され、その収益が共同作業所に還元されています。



ココに注目

販売されたキャップはモップとして再製品化され、会員企業が購入し、県内の小・中学校26校に78セットのモップが寄贈されました。

ココに注目

平成20年6月開催の株主総会においてもエコスタイルで実施し、株主の皆さまのご理解を賜りながら、地球温暖化防止に努めています。



「グリーン購入シンポジウムin滋賀」開催!!



賞団体の様々な事例を紹介。当行は、「環境経営」についての事例発表を行うとともに、高田頭取(現会長)が「グリーン購入は地球温暖化防止の特効薬となり得るか?」をテーマに座談会に参加しました。

高田頭取は、「環境活動は、それぞれの企業がサステナブル(持続可能)な発展を遂げるための重要なテーマであり、前向きな投資である」と、お取引先さまの好事例を交え熱く語りました。

TOPICS

平成20年1月、「グリーン購入シンポジウムin滋賀」が、びわ湖ホールで開催されました。

同シンポジウムは、滋賀県のグリーン購入の一層の底上げを図るとともに、全国のグリーン購入活動を牽引していくため、「第9回グリーン購入大賞」の滋賀県内受賞団体の様子を紹介します。



しがぎんVOICE

「COOL BIZ+(プラス)参加者の声

総合企画部 東京事務所
杉江 秀樹

環境省が推進するチームマイナズ6%の「COOL BIZ+」キャンペーンに参加しました。本キャンペーンは、クールビズに自分ならではの温暖化防止アクションをプラス宣言するもので、私は“できるだけ階段を利用する”と宣言!

階段の利用により無駄なエネルギーを発生させず、地球環境保全に努めたい、そして自分自身の健康のためにも階段の利用を推奨しています。

お金の流れで地球環境を守る ～当行独自の環境対応型金融商品・サービス～

地球環境との共存共栄

個

あれから10年、私たちの思いは変わりません

平成10年4月、当行最初の環境対応型融資商品「エコ・クリーン資金」を提供して以来、早くも10年が経過しました。

その間も、銀行としての本業である「金融」の役割を通じて、さまざまな環境対応型金融商品・サービスを提供。地域の皆さまの環境保全活動への支援に積極的に取り組んでまいりました。

当行は、今後とも「環境金融」が地球温暖化防止をはじめとする、持続可能な社会づくりに貢献できるとの使命を認識し、「お金の流れで地球環境を守る」との気概で、金融機関ならではのCSR活動を展開してまいります。

預金をしながら環境サポート
紙資源削減＆「学校ビオトープ」
づくりのお手伝い(P12)



SRIファンド
CSRに積極的に
取り組む企業に投資(P17)



定期預金の金額に応じて
排出権を購入。
皆さまとともに
地球温暖化防止に貢献(P13)

預金商品



無通帳口座でペーパーレス

エコでチャレンジ!!
「ニュービジネス」にかける
起業家精神をサポート(P19)



定期預金の金額に応じて
排出権を購入。
皆さまとともに
地球温暖化防止に貢献(P13)



第5回「企業フィランソपी大賞」受賞

(平成20年2月)

本業を生かして社会に貢献する企業を顕彰する、「企業フィランソピー大賞」(主催:社団法人・日本フィランソピー協会)において、当行は最高賞の「企業フィランソピー大賞」を受賞しました。

これは、10年前から「環境経営」を展開し、自らの省エネ・省資源のエコオフィスづくりの活動に加え、金融機能を生かして、地域全体の環境保全活動の啓発に努めてきたことが高く評価されたものです。





東近江市 道の駅のケン

人



第9回グリーン購入大賞 「環境大臣賞」受賞

(平成19年10月)



滋賀銀行はグリーン購入ネットワークの会員です

グリーン購入ネットワークが主催する第9回グリーン購入大賞において、当行は最高賞の「環境大臣賞」を受賞しました。

これは、当行が環境を主軸としたCSR経営を実践し、独自の「環境対応型金融商品・サービス」の提供による環境保全への働きかけを行うなど、金融を通じて、環境に配慮した地域社会づくりに全行あげて取り組んできたことが評価され、今回の受賞に至ったものです。



環境対応車の購入等を
低利融資とスピード対応で
強気にサポート



省エネルギー・耐震住宅への
リフォームをサポート (P17)



エコ関連・耐震住宅建設を
サポート (P17)

太陽光発電等の導入をサポート。
CO2削減量に応じて
二酸化炭素を放流 (P16)



融
資
商
品



エコビジネスマッチングフェアを開催!!
ビジネスチャンスの創出を
強気にバックアップ (P19)



地球温暖化防止の
思いが込められたご預金を
環境配慮への取り組みが
先進的な企業等にご融資 (P13)



環境を主軸とする
CSR経営をサポート (P14)

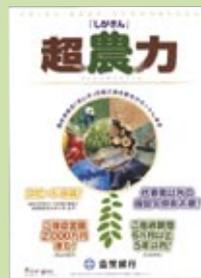


環境保全に
取り組まれる
事業主の皆さまを
サポート (P14)

その他にも…
CSRの観点で、お客さまの
課題解決をサポート!



災害対策に取り組む
事業者の皆さまを
コンサルティングから
ご融資までサポート (P23)



農林漁業の皆さまの
夢を力強くサポート

法 人

Think Globally, Act Locally

しがぎんは地球規模で考え、地域で行動しています。



Q.環境対応型金融商品にはどのようなものがありますか？



「学校ビオトープ」で環境学習 ～エコプラス定期～



米原市立 醒井小学校



湖北町立 速水小学校



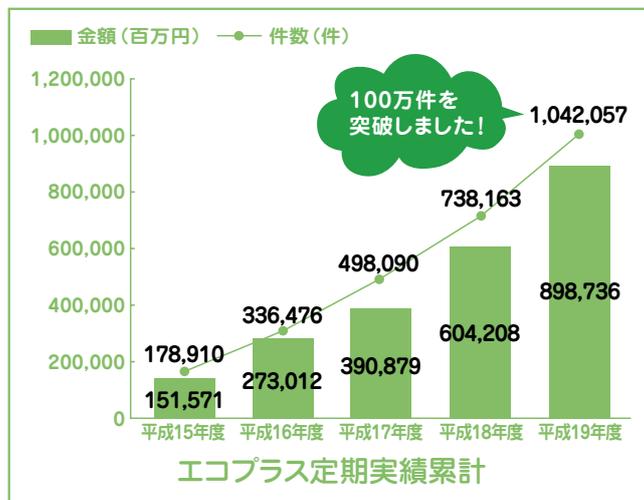
高島市立 今津北小学校

平成19年度
「学校ビオトープ」
助成先

エコプラス定期は、お客さまが当行のダイレクトチャネル（ATM、電話、インターネット）を利用して定期預金をしていただくと、1回のお預け入れごとに7円（ダイレクトチャネルで不要となる定期預金申込用紙代相当額）を当行が負担して積み立て、滋賀県内の小学校の「学校ビオトープ」づくりの資金として拠出させていただくものです。

平成19年度は3校に、それぞれ50万円を寄贈しました。

なお、平成20年3月末現在の取扱高は104万件、8,987億円にのぼっています。



注目

「環境学習の場の提供」として「学校ビオトープ」づくりをご支援することで、未来を担う子どもたちに、命や環境の大切さを学ぶ、きっかけを作るお手伝いがしたいとの思いを込めています。

「学校ビオトープ」 平成20年度は5校に助成！！

「エコプラス定期」による拠出金贈呈式を平成20年6月に開催。平成20年度は、5校へ「学校ビオトープ」づくりの活動資金として各々50万円を贈呈しました。

贈呈式では、各校長先生が「ホタルの舞う、夢のあるビオトープ」や「ビオトープを通して、生き物への愛情、思いやりの心を育むために活用したい」など、それぞれの思いを語り、子どもたちの心身の成長に期待を膨らませておられました。

これで、「学校ビオトープ」づくりの助成校は、平成18年度以来累計で10校となり、総額500万円を寄贈しています。

TOPICS

平成20年度助成先

- 長浜市立長浜北小学校
- 高島市立マキノ北小学校
- 安土町立老蘇小学校
- 県立鳥居本養護学校
- 近江兄弟社小学校





種から芽へ ～預金と融資を地球環境保全で結ぶ～



未来の地球を守る種まき ～カーボンオフセット定期預金～



お客さまからお預け入れいただいた定期預金の金額に応じ、当行が費用を負担して温室効果ガス排出権を購入する「カーボンオフセット定期預金『未来の種』」を、平成20年4月1日、国内の金融機関で初めて取り扱いを開始しました。

この預金は、これまで10年にわたり展開してきた当行の環境経営を、地域の皆さまとともに充実させていく

ため、地球温暖化を身近な問題として捉えていただくきっかけづくりと、地球温暖化防止に対する、お客さまの具体的な行動手段を提供するための商品です。

取り扱い開始以来、「孫や子どもたちの暮らす地球環境を守りたい」という思いをはじめ、お客さまの行動が地球温暖化防止に直接つながる商品として共感を集めています。



NEW!

“未来の種”を育てます ～事業者向け環境配慮型融資～



「カーボンオフセット定期預金『未来の種』」による、地球温暖化防止への思いが込められたご預金を、環境配慮に先進的な事業者の皆さまや、温室効果ガス削減への取り組みが必要とされる資金にご融資する新商品「事業者向け環境配慮型融資『未来の芽』」を、平成20年7月7日の北海道洞爺湖サミットの開催に合わせ、取り扱いを開始しました。

具体的には、「未来の種」にお預け入れいただいたご預金を原資に、温室効果ガス削減目標を掲げて削減に取り組んでいる等の「環境配慮に先進的な企業」や「環境配慮事業者が実施する温室効果ガス削減につながる取り組み」を支援するため、ご利用いただきやすい固定金利でご融資。ご預金者の地球環境保全への思いを受け継ぎ、「お金の流れで地球環境を守る」という当行の「環境金融」を一層充実させる商品です。



NEW!

ココに注目

当行が定期預金額の一定割合(0.1%)分の排出権を購入し、初年度分としてあらかじめ負担する排出権2.00 Ot分の費用(約600万円)に相当するまで取り扱う、総預入枠約60億円を上限とする商品です。京都議定書で削減目標が定められている第一約束期間の5年間にわたり、毎年、当行が排出権を購入します。

カーボンオフセット

地球温暖化対策として、企業や消費者が排出した温室効果ガスの一部を排出権の取得や自然保護活動への協力等で相殺すること。

用語説明

『未来の種』にお預け入れいただいたお客さまに、感謝の気持ちを込めて「お預け入れ感謝カード」をお渡ししています。

しがぎんVOICE

商品企画担当者の声



営業統轄部 吉田 浩平

「未来の種」、「未来の芽」を企画しました。当行の様々な形の社会貢献の中で、本業である環境対応型金融商品の開発・推進は最も重要だと思っています。商品を通じて環境を守る「新しいお金の流れ」を生み出すこと、「地球温暖化問題」や「排出権」の仕組みをお客さまに知っていただくこと、そしてビジネスとの両立を目指して開発しました。



Q.環境対応型金融商品には どのようなものがありますか？

地球環境保全への願いを込めて ～「しがぎん琵琶湖原則(PLB)」～

お客さまと手を携え、環境保全に向けた取り組みを一層促進させるため、平成17年12月に「しがぎん琵琶湖原則(PLB=Principles for Lake Biwa)」を策定し、琵琶湖をはじめとする地球環境保全への願いを込めた、この原則への賛同を広く呼びかけています。

ご賛同いただいたお客さまのうち、ご希望の方には、お客さまの「環境を主軸としたCSR経営に関する資料」に基づき、当行独自のPLB格付(環境格付)を実施。環境経営に対する「気づき」のツールとしてご活用いただいております。



環境を主軸とする CSR活動をサポート ～琵琶湖原則支援資金(PLB資金)～

環境保全に取り組まれる企業・事業主の皆さまに通常より金利を優遇してご融資する「エコ・クリーン資金」(平成20年3月末現在実行累計:669件82億8,900万円)の商品内容を充実・発展させ、PLB格付によるお客さまの取り組み度合いを反映して最大で金利を年0.5%優遇する「琵琶湖原則支援資金(PLB資金)」の取り扱いを平成17年12月より開始しています。

この「PLB資金」には、地元中堅・中小企業による「環境を主軸としたCSR経営」を支援し、地域と連携して「持続可能な企業と地域社会」を実現しようとの強い願いを込めており、県内・県外を問わず大きな反響をいただいております。

平成20年3月末現在、融資累計は472件、67億8,200万円、PLBにご賛同いただいた企業・事業者は、2,184先にのぼっています。

Principles for Lake Biwa しがぎん琵琶湖原則(PLB)

趣旨

滋賀銀行は、地域自然環境の象徴である近畿の水源・琵琶湖を擁する滋賀県の地元銀行としてCSR(企業の社会的責任)を全うし、「持続可能な企業と地域社会」を実現するために、三項目からなる「しがぎん琵琶湖原則」を策定し、お取引先にその理解と協力を求め、地域全体で「環境を主軸とするCSR経営」の推進に努めてまいります。

PLB三原則

- 1 私たちは地球を、日本を、琵琶湖を愛し、本業の中において発生する環境負荷を低減し、地域の環境保全に役立つ環境配慮行動を組み込んだ生産・販売・サービス基準を策定することによって、琵琶湖を擁する地元滋賀県の水質・大気・土壌などの環境保全や地域社会の持続的な発展に貢献します。
- 2 私たちは地球を、日本を、琵琶湖を愛し、環境保全や地域社会等の持続的な発展に役立つ製品・商品・サービスを開発・普及することによって、環境配慮行動とビジネスチャンスの両立をめざします。
- 3 私たちは地球を、日本を、琵琶湖を愛し、地球温暖化ガス(CO₂)・土壌・ダイオキシン汚染に代表される環境リスクへの対応として、滋賀銀行と取引先の双方が環境リスクマネジメントに必要な不可欠な情報の共有をめざし、コミュニケーション活動を推進することにより環境リスクを軽減し、持続可能な地域社会を実現します。



PLB資金プラン・ラインナップ

プラン	エコ・アクションプラン	みずすましプラン	ISOプラン
資金使途	環境保全に役立つ製品・商品・サービスの開発・販売を行うにあたり必要とする運転資金・設備資金	水質の汚濁を防止するための施設の設置、改善または整備に必要な設備資金	ISO認証取得にかかる運転資金・設備資金（ISO14000シリーズの他、ISO9000シリーズを含む）
プラン	省エネ・温暖化ガス削減プラン	土壌汚染防止プラン	リサイクルプラン
資金使途	地球温暖化を防止するための設備資金 ①営業車としての低公害車、低燃費車等の購入資金 ②社屋・営業所・工場等におけるエネルギー使用の合理化・温暖化ガス削減のための設備資金	土壌汚染を防止し、除去するための覆土事業、舗装事業、遮断事業、物理的・化学的処理による物質の除去または無害化事業に必要な設備の購入および調査等に要する費用	廃棄物をリサイクル化するための機械設備およびリサイクル商品の製造設備の購入に要する費用

「PLB格付」と「PLB金利優遇制度」

「しがぎん琵琶湖原則」にご賛同いただきますと、PLB格付のランクに応じて、「琵琶湖原則支援資金」の貸出金利を優遇させていただきます。「環境保全や地域社会等の持続的な発展」に役立つ資金を必要とされる際には、ぜひともご利用ください。

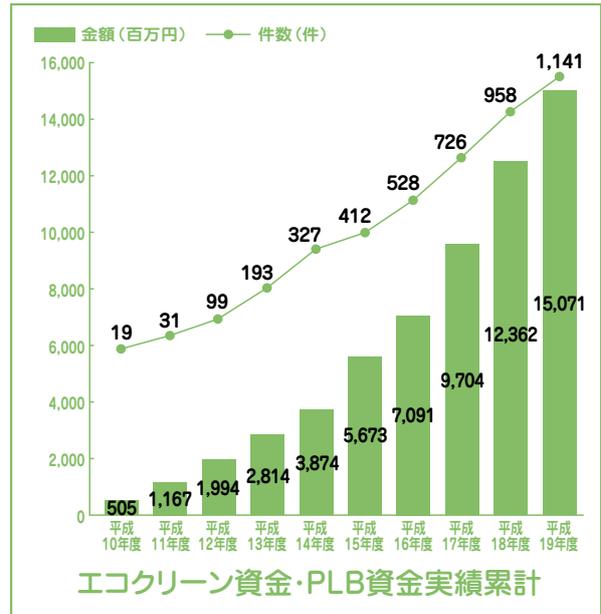


PLB格付	格付評価	金利優遇幅
L1	取り組みが先進的	0.5%
L2	取り組みが十分	0.4%
L3	取り組みが普通	0.3%
L4	今後の取り組みに期待	0.2%

(注) L5に格付された場合はPLB資金をご利用いただけません。

格付評価項目

ISO14001等の認証取得	グリーン調達・グリーン購入の取組
環境会計導入	コンプライアンスの推進部署の設置状況
土壌汚染、騒音、振動等への取組	
環境に配慮した製品・商品の取扱	環境報告書の発行
法令遵守方針の策定	投資案件決定時の環境考慮対応
環境方針の策定	地球温暖化ガス(CO ₂)排出量削減への取組
環境保全のボランティア活動	
省エネ・省資源への取組	リサイクルへの取組

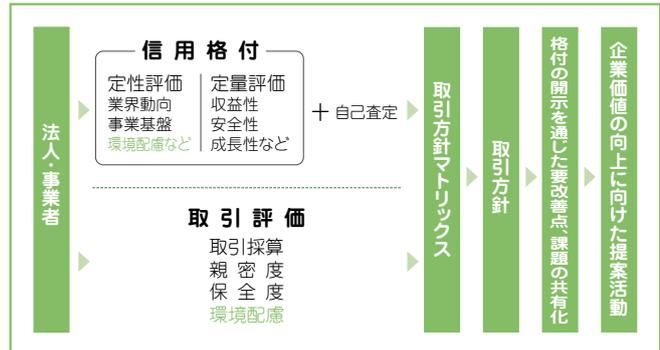


「企業格付制度」は“環境”も視野に 企業格付制度

当行では、CSRの側面も加味した、「企業格付制度」を実施しています。

「企業格付制度」では、環境保全に熱心なお取引先の活動を取引評価ならびに信用格付に反映させるため「環境配慮評価項目」を設けています。

また、この格付制度を、お取引先の企業価値向上に向けた提案や親身なソリューション活動を充実させるための「コミュニケーションツール」として活用し、「知恵と親切を提供するビジネス」を展開してまいります。



Q.環境対応型金融商品にはどのようなものがありますか？



CO₂削減量に応じて ニゴロブナ3万匹放流 ～カーボンニュートラルローン 未来よし～

「カーボンニュートラルローン 未来よし」は、琵琶湖の環境と生態系の保全をめざして、平成19年4月に取り扱いを開始しました。

この商品はお客さまが当行の環境対応型金融商品である「琵琶湖原則支援資金」「エコ・クリーン資金」「エコ&耐震住宅ローン」「セレクトリフォームローン(エコ&耐震)」の利用を通じて「太陽光発電システム」等を導入された場合、削減された温室効果ガスの量に応じて、「EU排出権取引価格」(排出権購入に必要な金額)を参考に当行が試算し、琵琶湖の固有種「ニゴロブナ」放流事業に資金を拠出するものです。

平成19年度、平成20年度ともに、財団法人・滋賀県水産振興協会が実施するニゴロブナ放流事業に120万円を寄贈しました。

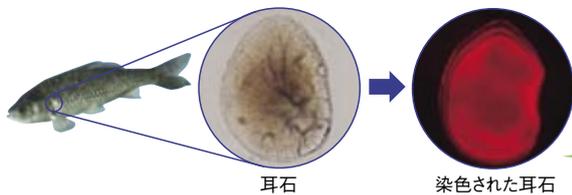
カーボンニュートラル

日常生活や事業活動に伴って発生する温室効果ガスを、植林や自然エネルギーの導入などにより実質的にゼロに近づける取り組み。

用語説明

ニゴロブナにしがぎんマーク ひと目でわかる放流効果

放流される「ニゴロブナ」は、内耳の「耳石」に特殊な色素で染色し、識別できることから、一定期間後にサンプリング(捕獲)して繁殖状況などを調査。また、「ニゴロブナ」の増殖により「ふなずし」など湖国の食文化(スローフード)を守り、振興しようとの願いも込めています。



しがぎんが放流したニゴロブナのしるしとして、3重のリングマークをつけています



ふなずし
日本最古の「すし」と言われており、琵琶湖産のニゴロブナを約3か月塩漬けた後、ご飯を詰めて焼酎などで本漬けた滋賀県古来の珍味

ココに注目

絶滅危惧種である、ニゴロブナを保全することにより、生物多様性への取り組みを進めています。



※掲載の耳石の写真は滋賀県水産試験場、ふなずしの写真は滋賀県水産課よりご提供いただきました。

「頑張って育てよ」ニゴロブナ放流式を開催!!

平成20年1月、役職員ボランティア340名が草津市下物町の烏丸半島に集合。例年実施しているヨシ刈りに加えて、ニゴロブナの放流式を開催し、「頑張って育てよ」などの呼びかけの中、ニゴロブナは次々と琵琶湖に放たれ、元気に泳いでいきました。冬の寒い一日でしたが、琵琶湖の環境保全を願って心がひとつになりました。



ニゴロブナ放流式

TOPICS

第12回新エネ大賞

「新エネルギー財団会長賞」受賞(平成20年2月)

太陽光発電システムなどを導入すると、さらに金利を優遇する「カーボンニュートラルローン 未来よし」の商品性は非常にユニークで、削減したCO₂排出量に応じて琵琶湖の固有種ニゴロブナ放流資金を拠出する仕組みは、地域密着型の社会貢献であるとして、高い評価を受けました。



新エネ大賞エンブレム